

# 「将来を担う新規就農者の確保・育成」

河内農業振興事務所経営普及部

河内地域の地域戦略 「地域が育てるかわちの担い手、地域を支える農業基盤づくり」

県実施方針の重点取組事項 「意欲ある人材の参入促進」

## 1 取組の背景・ねらい

河内地域では、担い手の減少や高齢化が進んでおり、新規就農者の確保・育成が急務となっています。

そのため、関係機関・団体と連携しながら、就農前から新規就農後の各段階における就農支援体制を強化することにより、新規就農者を確保し、将来の地域農業の担い手育成を図っています。

農業振興事務所と関係機関や先進的経営体（先進農家）が一体となって、地域全体で新たな担い手を育てるという意識が醸成されています。

目標項目	R2実績	R4目標	R4実績	R7目標
新規就農者数（人/年）	41	40	40	40
とちぎ農業マイスター等による研修者数（人）	5	10	10	10

## 2 活動対象

### (1) 対象名

管内新規就農者、就農希望者、河宇地域就農支援ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」と称する。）、JA 生産部会

### (2) 対象の概要

河内地域への新規就農者（40人中 雇用就農 11人、いちご7人、露地野菜6名、他22人）及び新規就農希望者を対象としています。

## 3 活動の内容

### (1) 指導・支援の体制

新規就農受入体制強化のため、市町、市町農業委員会、市町農業公社、農協などの関係機関で構成されるネットワーク会議を定期的開催し、情報交換しつつ連携体制を構築しています。経営普及部内では、経営指導担当と技術担当が連携した新規就農者確保推進チームが、就農相談から就農後の技術指導を行っています。

### (2) 活動経過

#### ア 就農相談体制の強化

平成29年度にネットワーク会議において、河内管内の主要な作物の栽培スケジュール等を記載した「就農マニュアル」を作成し、就農相談の場で活用しています。

また、関係機関の担当者が、各種就農支援制度について研修し、情報を共有し意見交換する機会を定期的に設けることで、新規就農者確保の意識の醸成とスキルアップを図っています。

#### イ 研修体制の充実

研修体制の強化を図るため、令和4年度とちぎ農業マイスターを新たにいちごで2名設置

し、管内のマイスター数は合計で 13 名（いちご 11 名、アスパラガス 2 名）となりました。また、マイスター 3 名（いちご 2 名、アスパラガスで 1 名）のほ場にトレーニングファームを整備し、ハード面の充実にも取り組みました。さらに、令和 5 年度には「なし」の研修体制について拡充を図るため、関係機関、団体と検討を進めています。

#### ウ 青年等就農計画の作成指導

関係機関と連携し、青年等就農計画及び青年等就農資金計画の作成支援を実施しています。

#### エ 新規就農者の経営能力向上支援

経営開始から 5 年目の新規就農者を対象に、経営技術改善セミナーを開催し、技術や経営を発展させるヒントまで幅広い知識の習得をサポートしています。令和元年度からは、新規就農者に加えて就農前の研修生も参加させることで、就農前の段階から先輩農業者とのコミュニティづくりを支援しています。また、令和 3 年度から新たに「アグリトーク in 河内」を開催し、新規就農希望者の相互交流や先輩農業者との意見交換の機会を設けています。



写真 アグリトーク in 河内（先輩農業者より・ほ場見学にて）

## 4 活動の結果

### (1) 「地域が担い手を確保する」意識の醸成

ネットワーク会議を通して、関係機関との情報交換や意見交換を行うことにより、それぞれの機関が主体的に動き、新規就農者の確保・育成が図られています。会議以外でも定期的に担当打合せ（概ね 2 か月に 1 回）を実施し、情報交換を密にしています。これらの取り組みを通して地域で新規就農者を育成しています。

### (2) 就農時のイメージづくりの支援

「アグリトーク in 河内」は、就農希望者が先輩農業者から研修時、就農準備及び就農後における具体的なアドバイスを聞くことができ、就農時のイメージづくりの支援に繋がっています。

## 5 今後の対応策

### (1) いちご研修受入指導農家の確保

いちごの就農希望者が多く、就農希望者の研修を受け入れる指導農家の確保が必要となっています。そのため、関係機関、団体と連携し、新たな指導農家の確保並びにとちぎ農業マイスターの設置を推進します。

### (2) 第三者継承（居抜き）の推進

新規就農に当たって設備価格が高騰し、新規就農者の負担になっている中で、離農する農家の情報収集、新規就農希望者とのマッチングを推進するため、ネットワーク会議において情報交換や支援体制を強化し、安定した就農に繋げていきます。